

清川村における“研究テーマ”と“4つの柱”

幼・小・中の12年間を見通した確かな学力と豊かな心の育成
～輝き・愛着・誇りを持って未来を支える「清川っ子」の育成を目指して～



幼・小・中
で連携した発達
段階に応じた指導

学校と家庭・
地域が連携した生活習慣の
確立による確かな学力と豊かな心の育成

学校における指導
方法の工夫と改善

生きる力を育むためのICTの活用



主な取組

- ◇各校での研修会の実施（授業研究・工夫ある研究協議）
講師招聘各校3～7回実施
- ◇きよかわ学びづくり推進連絡協議会の開催（年6回）
研究報告、学力・指導力向上に向けた施策の協議等
- ◇「きよかわ学びづくりハンドブック」を活用した学習環境の整備
- ◇家庭・地域との連携
「きよかわまなび通信」を年3回発行し、幼稚園、各小・中学校の取り組み等を紹介
- ◇12年間の系統性を意識した学校間交流の実施
異校種間における授業交流・参観・研究協議へ参加



幼稚園および各校の研究のテーマ・概要

清川幼稚園

「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校の円滑な接続の推進について～遊ぼう！学ぼう！深めよう！未来へ輝く清川っ子～



～幼小連携～職員同士の相互理解により、園児・児童・職員が互いに慣れ親しむことで、学び合い・育ち合いが深まった。

【研究の講師】

プレイユニット「ドロップ」の方々
文京区立お茶の水女子大学こども園の先生方

緑中学校

「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した指導方法の改善」



「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、生徒の学習を具体的に詳細に想定し、授業後には、生徒の学習の様子の記録に基づいて協議を行った。

【研究の講師】

飯窪 真也 先生
（教育環境デザイン研究所 主任研究員）

緑小学校

「自立・協働・創造」
～清川村から羽ばたく児童の育成～



異学年との積極的な交流や、他校や地域との交流を通して、多様な考えに触れたり他者と協働したりする機会を増やすことができた。

【研究の講師】

川原田 康文 先生
（桜美林中学校 高等学校 校長補佐）

宮ヶ瀬中学校

「生徒一人ひとりに応じた指導・支援の充実」
～極小規模校における協働学習の推進と自己肯定感を高める工夫～



小中合同の体育授業で、Tボールを通して、個に応じた指導と協働学習に視点を置き授業を行った。この授業内容を研究討議した。

【研究の講師】

大村 龍太郎 先生
（東京学芸大学 准教授）

宮ヶ瀬小学校

「わかった喜びの授業の研究」
～主体的な学びの中で児童が感じる「わかった！」の喜び～
（極小規模校 宮小Ver.）



総合の学習では宮ヶ瀬小の記録を残すために、HPに公開する学習計画を立てた。企画から、絵コンテ、撮影、編集まですべての活動で児童が主体的に取り組むことができた。

【研究の講師】

大村 龍太郎 先生
（東京学芸大学 准教授）

《今年度の成果》

- 園・各校において、課題を解決するための研究を深めることができた。
- 自己肯定感を高めるための教育活動の工夫・改善ができた。
- 幼・小・中の先生方がそれぞれの研究内容や、子どもたちの活動を、実際に見合うことができた。